

2022年（令和4年）10月20日

各 位

近畿弁護士会連合会

理事長 吉田 和 宏

同 死刑廃止検討連絡協議会

座 長 江村 智 禎

同 人権擁護大会シンポジウム実行委員会

実行委員長 土井 裕 明

第32回 近畿弁護士会連合会人権擁護大会シンポジウム（第2分科会）

日本の死刑制度はどうなっているのか？ ～正しい情報に基づいたオープンな議論を～

死刑制度については、その将来的な方向性をめぐって、存置の立場と廃止の立場との間で意見の相違があり、さらには、この問題に関わったこともない、あるいは、関わりを避ける立場も存在し、議論が積極的に展開されていない現状にあります。

そこで、このシンポジウムでは、どの立場からも共通に議論ができる対象として、①笹倉香奈甲南大教授より、死刑事件に関する訴訟手続上の問題点をご解説いただき、②ジャーナリストの小倉孝保さんより、死刑の執行に関する法理論上および現場実務上の問題点を教示いただき、③さらに、これまでの議論を踏まえて死刑制度の存置、廃止それぞれの立場からの討論を行います。そしてそれらの中で、すべての問題に共通する情報非公開の問題にも切り込んでいきます。

これまで死刑制度について特に考えたことがなかった会員や死刑制度の存廃について態度を決めかねている会員にも、死刑事件の手続上、運用上の問題点や、それらの背景となっている日本固有の事情について知っていただき、存置派も廃止派もそうでない派も含めて、共通して語り合える環境と基盤を形成していければと考えています。

記

日 時：2022年（令和4年）11月25日（金）正午～午後2時30分

開催形式：Zoomウェビナーによる配信

※完全事前申込制

事前にお申込みいただけていない場合は、シンポジウムにご参加いただけません。

また、定員（裏面を参照）に達し次第、申込を締め切らせていただきます。

参加会費：無料

申込方法：裏面をご確認ください。

プログラム：第1部 講演 笹倉 香奈 氏（甲南大学法学部法学科 教授）

第2部 講演 小倉 孝保 氏（毎日新聞社 論説委員）

第3部 対談 [死刑制度存置派]

滝本 太郎 弁護士（神奈川県弁護士会会員）

[死刑制度廃止派]

堀 和幸 弁護士（京都弁護士会会員）

以上

第32回近畿弁護士会連合会人権擁護大会シンポジウム（第2分科会）

日本の死刑制度はどうなっているのか？ ～正しい情報に基づいたオープンな議論を～

【開催形式】 Zoomウェビナーによる配信

【定員】 1,000名
※ 申込先着順・定員に達し次第受付を終了いたします。

【参加費】 無料
※資料データ（無料）は申込時に入力いただいたメールアドレス宛に送信いたします。

【申込方法】 下記URLまたは、QRコードより事前にお申し込みください。

https://www.osakaben.or.jp/event/2022/2022_1125_02.php



- ※ 事前にお申込みいただけていない場合は、シンポジウムにご参加いただけません。
- ※ 定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます。
- ※ 手話通訳、要約筆記をご利用の方は下記URLの申込フォームよりご連絡ください。
- ※ WEB参加の方は11月中旬までに、申込時に入力いただいたメールアドレス宛に当日のURL等に関するご連絡をいたします。

【申込締切】 2022年（令和4年）11月18日（金）

ご参加される方へ

- 当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合、やむを得ずシンポジウムを中止する可能性があります（目安として10分以上配信不能となった場合）。
- 視聴者のPC環境・通信状況等の不具合について、当連合会では責任を負わず、Zoomの利用方法等についてのサポート対応等も行いかねますので、予めご了承ください。
- 録画（スクリーンショットを含む）・録音や二次利用は固くお断り申し上げます。

▶ 本シンポジウムに関するお問い合わせ先
近畿弁護士会連合会
死刑廃止検討連絡協議会担当事務局
TEL:06-6364-1227